

50^{天白区制}周年 記念式典

日時 令和 7 年 2 月 1 日(土) 午前 9 時 30 分～

場所 天白文化小劇場

天白区制 50 周年記念事業実行委員会



式次第

- 1 平針木遣音頭
- 2 植北っ鼓 太鼓パフォーマンス
- 3 主催者あいさつ
- 4 来賓祝辞
- 5 感謝状贈呈
- 6 記念講演

「つなげよう！地域社会
～子どもたちの未来を拓くために～」

講師 藤原 和博氏
(杉並区立和田中学校元校長)

- 7 合唱 植田東小学校合唱部
- 8 区長謝辞～輝かしい未来に向けて～



名古屋市長 感謝状受賞者

◆ 被表彰者 13 名及び 1 団体 ◆

功 勞

浅 野 香代子
齋 藤 利 夫
田 川 清 司
藤 井 貴美恵
森 山 美 子
山 田 隆 夫

伊 藤 勇 造
佐 藤 武 夫
富 岡 喜代美
箕 浦 憲 二
安 江 春 彦
渡 邊 壽 子

功 績

郡 健 二 郎

本州建設株式会社

(敬称略、50 音順)

天白区長 感謝状受賞者

◆ 被表彰者 37 名及び 12 団体 ◆

浅井 勝 秀
伊藤 邦 夫
小野田 誓
木村 昭 孝
小島 光 子
近藤 ゆき子
三田 律 子
中島 守
坂東 洋 補
枘井 多津子
森山 みゆき
横地 道 代
若井 勇

浅井 知 子
大館 武 志
垣内 孝 雄
栗田 暁 美
後藤 睦 男
佐久間 俊 成
須崎 功
林 雅 子
阪野 勝 己
村上 正 一
山田 敬 一
横地 義 敬

浅若 芳 弘
大塚 早智子
金丸 準 一
黒川 建
小中 憲 子
佐藤 孝 夫
築山 喜代美
原 宏
阪野 美 紀
村瀬 進
山田 英 樹
吉川 秀 樹

伊藤整形外科

医療法人東樹会

大矢建設株式会社

介護付有料老人ホーム風の丘

天白信用農業協同組合

本州建設株式会社

医療法人資生会八事病院

医療法人並木会並木病院

おやじの会ばりばりとうちゃんず

蔦井株式会社

名古屋天白ライオンズクラブ

八事東レディースクラブ

(敬称略、個人・団体別 50 音順)

実行委員会会長 感謝状受賞者

◆ 被表彰者 2 名及び 20 団体 ◆

川 島 倭文子

愛知県天白区薬剤師会

医療法人資生会八事病院

学校法人トヨタ学園豊田工業大学

株式会社エフエックス

株式会社平安閣

株式会社結の樹

天白区区政協力委員協議会

天白区民生委員児童委員有志一同

天白信用農業協同組合

野並交通少年団・野並自転車部

安 江 春 彦

医療法人岩山小児科

学校法人東海学園東海学園大学

学校法人名城大学

株式会社竹居組

株式会社マルワ

中部電力パワーグリッド株式会社 天白営業所

天白区保健環境委員会

天白区遊技場防犯組合

名古屋市天白区医師会

ルアナガーデン焼山

(敬称略、個人・団体別 50 音順)

記念講演

つなげよう！地域社会 ～子どもたちの未来を拓くために～

講師

藤原 和博 さん

山梨県知事特別顧問

「朝礼だけの学校」校長

教育改革実践家

リクルート社初代フェロー

和田中学校・一条高校元校長



1955年東京生まれ。

78年東京大学経済学部卒業後、株式会社リクルート入社。

東京営業統括部長、新規事業担当部長などを歴任後、93年よりヨーロッパ駐在、96年同社フェローとなる。

2003年より5年間、都内では義務教育初の民間校長として杉並区立和田中学校校長を務める。

08～11年橋下大阪府知事特別顧問。

16年から2年間奈良市立一条高校校長として生徒所有のスマホを授業に活かし「スーパー・スマート・スクール (SSS)」化。

隈研吾設計の「一条ホール」もプロデュースした。

アクティブラーニングの手本となった「よのなか科」が『ベネッセ賞』、「地域本部 (現在は地域学校協働本部として全国の公立学校の7割に波及)」が『博報賞』、食育と読書活動が『文部科学大臣賞』をダブル受賞し一挙四冠に。

本業は教育改革。学校に蔓延る「正解主義・前例主義・事勿れ主義」を排し一斉授業を超える仕組みづくりに奔走。20年間の総決算が近著『学校がウソくさい―新時代の教育改造ルール』に結実。2022年から山梨県知事特別顧問として父の故郷の教育改革に参戦。

盟友・隈研吾と共に「富士登山鉄道計画」の応援団長にも就任。

65歳からオンライン寺子屋「朝礼だけの学校 (あさがく)」を開校し、史上初生徒が全員先生の学校をプロデュース。攻撃を受けることのない安心なコミュニティとして評価が高い。

(ご本人提供のプロフィールより抜粋)

名古屋市指定無形民俗文化財 平針木遣音頭保存会

平針木遣り音頭のルーツは諸説ありますが、慶長15年(西暦1610年)の名古屋城築城の際、石材や木材の運搬等のため労働者として駆り出された平針始め名古屋周辺の農民達が、他国から来た労働者が唄う木遣りを覚えたものが起源といわれています。

木遣り唄は元来、神社、仏閣をはじめ造営工事の際の労働作業唄でありましたが、家屋を建築することは即ち慶事であるため、後になって結婚式などの諸行事における祝言唄として伝承され、今日に至っています。

今日は、天白区制50周年というお祝いにふさわしい演舞を平針木遣音頭保存会のみなさんにご披露いただきます。

曲名 「とさのこまごと」「とさ」



植北っ鼓



植田北学区において「特色ある地域づくり」、「和太鼓の響くふるさとづくり」をテーマに2001年から活動をしている小学生の和太鼓チームです。

植田北学区の各種イベント(成人の日記念行事、防災春祭り、夏祭り、学区運動会)への出演や学区内の福祉施設での演奏のほか、天白区区民まつりや植田八幡宮奉納太鼓など学区外での演奏にも積極的に取り組んでいます。

本日は、天白区制50周年記念式典に向けてアレンジした楽曲を演奏します。

曲名 「つなぐ」

植田東小学校合唱部

植田東小学校合唱部です。

今回、天白区制50周年のイベントのエンディングで私たちが歌えると聞いて、とても嬉しかったです。

植田東小学校合唱部は、現在4年生から6年生54名で活動しています。今回は5年生と6年生での参加になりますが、心を込めて歌いたいと思います。

いつも歌う前は、ストレッチや発声をして、声を出しやすくしています。この合唱部はとても楽しくて、他学年とも仲が良いです。

そんな私たちが今回歌う曲は、「いまだよ」という曲です。今年のCBCコンクールで歌い、中部大会では優秀賞をいただくことができました。

続いて歌う曲は、「あすという日が」という曲です。声を揃え、みんなで同じ気持ちを共有して歌います。

ぜひ聴いて下さい。

曲名 「いまだよ」「あすという日が」



